

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月11日

東

上場会社名 株式会社ラバブルマーケティンググループ 上場取引所
 コード番号 9254 URL https://lmg.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 雅之
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 中川 徳之 (TEL) 03-6381-5291
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	739	19.1	△5	△103.8	△5	△104.2	△13	△115.4
2022年3月期第2四半期	620	—	141	—	138	—	88	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △10百万円(△111.6%) 2022年3月期第2四半期 88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△9.71	—
2022年3月期第2四半期	74.68	—

- (注) 1. 2021年3月期第2四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2022年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
 3. 2023年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,197	456	36.4
2022年3月期	1,326	464	33.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 436百万円 2022年3月期 447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,742	25.5	205	2.5	201	7.3	122	34.4	87.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	1,405,525株	2022年3月期	1,402,525株
2023年3月期2Q	一株	2022年3月期	一株
2023年3月期2Q	1,403,279株	2022年3月期2Q	1,181,275株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は内外の情報変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、持ち直しの動きがみられるものの、感染再拡大の懸念やウクライナ情勢、物価上昇の影響により、依然として先行きは不透明な状況です。当社グループが事業を展開するマーケティング領域におきましては、従来からの市場成長に加え、オフラインからデジタルへの移行が加速しており市場環境は当社グループの事業に追い風となっている一方で、デジタル人材の不足により需給ギャップは拡大傾向にあり、優秀な人材の確保はますます厳しくなっていくことが予想されます。

このような状況の下、当社グループでは働き方改革の推進や将来の事業拡大に備えた積極的な採用活動を行い、「運用支援」、「運用支援ツールの提供」、「人材教育」といった当社グループ独自のソリューションを強みに、企業のマーケティング活動を総合的に支援してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は739,246千円（前年同期比19.1%の増収）、営業損失5,339千円（前年同期は営業利益141,124千円）、経常損失5,851千円（前年同期は経常利益138,269千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失13,629千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益88,222千円）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「マーケティングオートメーション事業」から「DX支援事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(SNSマーケティング事業)

企業のSNSアカウントの戦略策定から開設、運用代行、キャンペーンの企画・運用、広告出稿、レポート作成、効果検証までサポートするSNSアカウント運用支援サービス、SNSマーケティングを効率化するSaaS型のSNS運用支援ツールの開発・提供をしております。また、これらのノウハウを活かしてコンテンツ開発をしたSNSエキスパート検定講座の提供をしております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、広告市場がオフラインからオンラインにシフトする中で、企業のデジタルマーケティングにおいてもSNSマーケティングの重要性は高まっており、(株)コムニコでは、メタバース上でのマーケティングソリューションの提供に向けて、XRソリューションの「ABAL®システム」を運営する株式会社ABALと協業しマーケティングサービスの開発を行っていくことを決定いたしました。また、人員の採用に積極的に取り組み運用支援体制を強化しております。

(社)SNSエキスパート協会では、「SNSマーケティングはじめの一步 無理なく成果を出し続ける運用のコツ」を発売開始したほか、様々なウェブメディアへの寄稿やセミナーへの登壇により、SNSに関する知識の普及や安全な利用の啓発に取り組み、検定受講や法人研修の獲得を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高（「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高（以下同じ））は695,135千円（前年同期比19.1%の増収）、セグメント利益は178,784千円（前年同期比32.5%の減収）となりました。

(DX支援事業)

マーケティングオートメーション、営業支援システム、顧客管理システムの3つのクラウドサービスを用いて、顧客の経営課題に沿った戦略策定やプロセスの設計、最適なテクノロジーの選定、運用サポートまでワンストップで支援しております。開発体制の強化のため事業提携を行うなど、Salesforceの運用サポートサービスの拡充と顧客開拓に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44,111千円（前年同期比19.5%の増収）、セグメント利益は2,958千円（前年同期はセグメント損失1,409千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ203,265千円減少し

1,079,748千円となりました。これは主に、現金及び預金169,216千円、受取手形及び売掛金26,496千円等の減少によります。固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ74,402千円増加し117,830千円となりました。その結果、資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ128,863千円減少し1,197,578千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ224,970千円減少し468,326千円となりました。これは主に、買掛金48,943千円、未払法人税等76,767千円、未払金112,603千円等の減少によります。固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ103,636千円増加し272,336千円となりました。これは長期借入金が103,636千円増加したことによります。その結果、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ121,334千円減少し740,662千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7,528千円減少し456,915千円となりました。これは主に、利益剰余金が13,629千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ169,216千円減少し、694,697千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、213,991千円（前年同期は115,889千円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少48,943千円、未払金の減少112,818千円、未払消費税等の減少48,705千円、法人税等の支払額81,385千円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、75,325千円（前年同期は13,825千円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出30,308千円、敷金及び保証金の差入による支出45,007千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、120,101千円（前年同期は28,998千円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入145,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の通期の業績予想から変更はありません。なお、2023年3月期の連結業績予想に与える新型コロナウイルス感染症の影響は、軽微であると考えております。

本資料に記述されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	863,913	694,697
受取手形及び売掛金	373,903	347,407
未収還付法人税等	7,955	-
その他	37,299	37,697
貸倒引当金	△59	△54
流動資産合計	1,283,013	1,079,748
固定資産		
有形固定資産	1,026	34,170
無形固定資産		
のれん	4,556	2,278
その他	1,230	938
無形固定資産合計	5,787	3,216
投資その他の資産	36,614	80,443
固定資産合計	43,428	117,830
資産合計	1,326,441	1,197,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,007	53,064
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	51,209	65,007
未払金	163,077	50,474
未払法人税等	81,659	4,891
賞与引当金	-	28,592
その他	95,343	66,297
流動負債合計	693,296	468,326
固定負債		
長期借入金	168,700	272,336
固定負債合計	168,700	272,336
負債合計	861,996	740,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,687	268,020
資本剰余金	241,237	242,570
利益剰余金	△60,558	△74,188
株主資本合計	447,366	436,403
新株予約権	2,940	2,940
非支配株主持分	14,138	17,572
純資産合計	464,444	456,915
負債純資産合計	1,326,441	1,197,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	620,691	739,246
売上原価	242,928	361,251
売上総利益	377,763	377,995
販売費及び一般管理費	236,638	383,334
営業利益又は営業損失(△)	141,124	△5,339
営業外収益		
受取利息	5	22
補助金収入	-	705
印税収入	514	704
講演料等収入	923	589
その他	215	48
営業外収益合計	1,659	2,069
営業外費用		
支払利息	2,223	2,081
株式上場費用	2,000	-
その他	290	499
営業外費用合計	4,513	2,581
経常利益又は経常損失(△)	138,269	△5,851
特別損失		
固定資産除却損	847	-
特別損失合計	847	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	137,422	△5,851
法人税、住民税及び事業税	35,579	3,707
法人税等調整額	13,563	637
法人税等合計	49,142	4,344
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,279	△10,195
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	3,433
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	88,222	△13,629

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,279	△10,195
四半期包括利益	88,279	△10,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,222	△13,629
非支配株主に係る四半期包括利益	57	3,433

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	137,422	△5,851
減価償却費	656	587
のれん償却額	2,278	2,278
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	28,592
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△4
受取利息	△5	△22
支払利息	2,223	2,081
固定資産除却損	847	-
売上債権の増減額(△は増加)	△28,659	26,496
仕入債務の増減額(△は減少)	7,194	△48,943
未払金の増減額(△は減少)	△56,958	△112,818
未払費用の増減額(△は減少)	1,209	13,058
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,464	△48,705
その他	22,442	4,743
小計	114,122	△138,508
利息の受取額	5	22
利息の支払額	△2,203	△2,075
法人税等の還付額	20,459	7,955
法人税等の支払額	△16,492	△81,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,889	△213,991
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△30,308
敷金及び保証金の差入による支出	△2,040	△45,007
その他	15,865	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,825	△75,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	145,000
長期借入金の返済による支出	△28,998	△27,566
株式の発行による収入	-	2,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,998	120,101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,717	△169,216
現金及び現金同等物の期首残高	440,233	863,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	540,951	694,697

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	SNSマーケ ティング事業	DX支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	583,793	36,898	620,691	—	620,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,846	2,846	△2,846	—
計	583,793	39,744	623,537	△2,846	620,691
セグメント利益 又は損失(△)	264,710	△1,409	263,301	△122,177	141,124

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△122,177千円には、セグメント間取引消去△42,364千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△79,812千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	SNSマーケ ティング事業	DX支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	695,135	44,111	739,246	—	739,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	2,653	2,733	△2,733	—
計	695,215	46,764	741,979	△2,733	739,246
セグメント利益 又は損失(△)	178,784	2,958	181,742	△187,082	△5,339

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,082千円には、セグメント間取引消去0千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△187,082千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「マーケティングオートメーション事業」から「DX支援事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期報告累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。